



OUJ神奈川学習センター はるだより

通巻第82号

発行：放送大学神奈川学習センター

URL: <http://www.sc.ouj.ac.jp/center/kanagawa/>

2020年5月14日発行

〒232-8510 横浜市南区大岡 2-31-1

tel: 045-710-1910 fax: 045-710-1914

新入生のみなさまへ

放送大学神奈川学習センター所長 福富洋志

みなさま、ご入学おめでとうございます。
神奈川学習センターの教職員を代表致しまして、心からの歓迎とお祝いを申し上げます。

今学期、放送大学には、全国で 25,966 名の入学者がありました。当学習センターには 1,347 名の皆様が新たに加わり、所属学生数は全国 3 番目の 4,750 名になりました。

神奈川学習センターでは、これまで新入生をお迎えする度に、「入学者の集い」という名称で、入学式に相当する行事を開催してきました。しかし、今学期は緊急事態宣言を踏ま

えて、4 月 8 日から新型コロナウイルスの感染拡大を防止するために



全国 50 学習センターのすべてで学生のセンター入構が禁止され、皆様の人生の一つの節目になる、この入学者の集いが開催できませんでした。新しい目標に向かって入学された皆様とお目にかかり、直接お話しすることがかなわず、誠に残念でなりません。

通信制大学での学びには、一人一人に通学制の大学よりも学修に高い自律性が求められます。特に、大学での学びを初めて経験される皆様にとっては、単位制、科目の選択、履修登録、など戸惑うことが多いのではないかと思います。そこで、神奈川学習センターの機関紙「はるだより」とともに、学生生活がスムーズに始められるようにとの思いで、「入学者の集い」に続いて行われるオリエンテーションで配布予定であった書類をお送りすることに致しました。ぜひご一読いただきたいと思います。

放送大学での学びにはいろいろな特徴があ

目次	新入生のみなさまへ 所長 福富洋志	1~2
	新型コロナウイルスについて 客員教授／学校医 大重 賢治	3
	教職員の異動について	3
	卒業研究が出发点 客員教授 大戸 安弘	4~5
	新型コロナウイルスの感染拡大に伴う 対応について	6~8
	システム WAKABA のパスワード変更について	8
	神奈川学習センター開講ゼミ・研究会 一覧 / K サポートからのお知らせ	9
	学生サークルからのお知らせ	10~ 11
	神奈川学習センターからのお知らせ	12

りますが、二点だけ紹介いたします。その第一は学生生活にかかわる情報のすべてを自分自身で入手せねばならないことです。学修に必要な事項は、すでにお手元に届いている「学生生活の栞」に記載されています。この栞を熟読して理解することが学生生活の出発点になります。放送大学で情報を得るための、栞の次に大切なツールがインターネットです。放送大学や神奈川学習センターにはそれぞれホームページがあり、常に情報を発信しています。

第二は科目選択です。放送大学には、放送授業、オンライン授業、面接授業の3種類の授業があります。放送授業だけでも1学期で約300科目あり、全科生の皆様は、この中から科目を選択して、自分なりのカリキュラムを作って履修することになります。約300科目は、放送大学ならではの膨大な数で、入学目的も学修経験も多様な皆様の期待に応えるものです。しかし、限られた時間の中で自らが求める学修に必要な科目を選択することは容易なことではありません。放送大学には、ホームページからアクセスする「システムWAKABA」とよばれる教務情報システムがあります。これを利用すれば、15回の講義の概要を知り、実際に視聴することができます。システムWAKABAには、中学、高校での勉強内容を復習して大学での学修に繋げるための補習授業も用意されています。一人で学び続けるための強力な支援ツールでもあります。

これら二点に共通しているのは、インターネットのスキルを持つことが皆様の学修に重要だということです。上記の他、履修登録、通信指導、成績確認など、学業を全うするために欠かせない手続きや情報の入手も、郵送による対応も行われていますが、システムWAKABAを利用することで迅速、正確に行うことができます。放送大学に限らず、現代

の大学での学生生活にはICTが不可欠になっています。

しかし、新入生の皆様の中には、科目の選択もインターネットの利用も初めて、という方も毎学期少なからずいらっしゃいます。神奈川学習センターでは、これらの方々に安心して勉学を始めていただくための、客員教授による学習相談、現役学生と卒業生で構成されるKサポートの皆様による学習支援やパソコン支援活動等を活発に行っています。もちろん、電話でのお問い合わせやご相談、そして現在は停止していますが、学習センター受付での対面のご案内も行っています。

放送大学神奈川学習センターには、学習相談、Kサポート以外にも誇るべきものがたくさんあります。蔵書数4万4千冊の図書室、PC設備、活発なサークル活動などです。

緊急事態宣言が5月末まで延長されました。また、その後直ちに元の状況に戻ることは難しく、新入生の皆様に神奈川学習センターを存分に利用いただける時期はかなり遠いものと考えざるを得ませんが、センターではいろいろな状況に即応できるよう、備えを進めています。

皆様と力を合わせて新型コロナウイルスを克服し、皆様と学習センターでお目にかかれる日が一日でも早く来ることを教職員一同念じております。皆様におかれましては、くれぐれも健康に留意され、引き続き学業に励んでいただきますようお願い申し上げます。

神奈川(みなとみらい)



新型コロナウイルスについて

放送大学神奈川学習センター 客員教授/学校医 大重 賢治

2019年12月、新型コロナウイルス感染症の発生が報告されました。コロナウイルスは、これまでも普通に存在してきたウイルスで、かぜ症候群の10～15%程度が、コロナウイルスを原因とすると考えられています。今回のコロナウイルスはニューフェイスです。このニューフェイスのウイルスはSARS-CoV-2、このウイルスが引き起こす感染症はCOVID-19と命名されました。従来型のコロナウイルスには、多くの人が、あらかじめそれなりの免疫をもっているのですが、今回発生したウイルスはニューフェイスゆえに、免疫システムが起動するのにやや時間がかかります。そのため、体力のない人や基礎疾患のある人は免疫システムが十分に作動する前に重症化してしまう危険性があります。こういった新型のコロナウイルスが引き起こした感染症としては、2002年～2003年に流行したSARS（重症急性呼吸器症候群）や2012年に発見されたMERS（中東呼吸器症候群）がありますが、幸いにもこれらの感染症は日本での発生がありませんでした。

病原微生物（この場合ウイルス）が感染した宿主（この場合ヒト）に徴候もしくは症状を引き起こす能力のことを病原性といいます。実は、新型コロナウイルスの病原性は、高くないと考えられています。このこと自体は好ましいことのように思えますが、不顕性感染（無症候感染）が多くなることを意味し、ウイルスの封じ込めは難しくなります。不顕性感染者の割合については、感染者の50%から、もしかすると90%に至るのではないかと考えられています。まだはっきりとは分かりません。かなり多いということだけは確かでしょう。また、この感染症は、ヒト側の要因により症状にばらつきが大きいようです。軽い人から重い人、死亡にいたる人まで容体の幅が広がっています。不顕性感染者や軽症者が多いので、自分が感染している可能性を考えて行動することが必要です。マスクをすることや、人との距離を十分にとること（ソーシャルディスタンス）は、自分の感染予防と同時に、自分が感染していた場合に、周りに広げないためにも重要です。

神奈川学習センターにおける教職員の異動について

下記の通り教職員の異動がありました。今年度もよろしくお願いします。

2020年3月31日 退任

職員	河内 俊之	（事務長）
	楠 美和	（教務係長）
	片野 克己	（教務係）
	石黒 敬彦	（図書）
教員	宇高 義郎	客員教授 （機械工学、熱工学）
	内藤 晶	客員教授 （生物物理化学、構造生命科学、核磁気共鳴分光学）
	福田 幸男	客員教授 （認知発達心理学）
	溝口 周二	客員教授 （管理会計、原価計算）

2020年4月1日 就任

藤井 明宏	（事務長）
中兼 優介	（教務係長）
山中 次男	（教務係）
神原 喜代子	（図書）
植村 博恭	客員教授 （比較経済制度分析、マクロ経済分析）
大重 賢治	客員教授 （公衆衛生学、予防医学）
飯田 深雪	客員准教授 （第二言語習得、英米文学、異文化コミュニケーション）



卒業研究が出发点

客員教授 大戸安弘

1.進路選択



この春はいつにも増して憂鬱な季節となってしまったと思われている方も多いことでしょう。それでも、桜や花水木が散った後に、今は鉄線や薔薇が咲き誇っていて、季節は変

わらずに移ろい行くものだとも例年にも増して感じています。放送大学に着任して4回目の春を迎えました。着任直後の大岡川沿いの満開の桜を思い浮かべつつ、大学教員としての生活も38年目に入ったことを感慨深く思います。

私の専門は、日本教育史であり、これまで主に中世及び近世の伝統社会の教育を対象にささやかな研究を続けてきました。大学院時代が6年間、日本学術振興会の研究員が1年間ありましたので、トータルで45年の間日本教育史研究に取り組んできたことになりますが、その出发点は学部での卒業研究にあります。このように申しますと、横浜国大の学部時代から研究者を目指して一直線に進んだかのように見えますが、あれこれ迷いながら進んできたというのが実際のでした。

私が大学を卒業した1976年は、オイルショックの時代で急に大学卒業生の就職が厳しくなりつつありました。そうした中で、公務員採用試験を受けたり、周囲の動きに乗せられて金融機関や洋酒メーカーなどへの会社訪問を重ねた結果、ある企業への内定を決めていました。その後、成績証明書を提出するように求められたために、夏休み中の8月に大学に出たところ、指導教員の久木幸男先生がいらしていたことから、状況報告を行いました。その際の先生の一

言が、迷っていた私の気持ちを整理させ、その後の道筋を決めたといえます。

2年生の時から先生のゼミナールでの指導を受け、学問の世界の豊かさに徐々に惹きつけられてきたとはいえ、自身の将来をそこに見出そうと至るまでには時間が必要でした。3年生の秋に、あまり人が手掛けることのない中世の教育に関心を向け、一向一揆を支えた人々の精神形成史をテーマに据え、ある程度の手応えを感じつつあった時期での恩師の一言が、大きな後押しになったといえます。

2.中世の教育を遊歴傾向から捉える

大学院は開設直後の筑波大を選択しました。現在は大学院が一般化し、殆どの大学に博士課程のコースが整備されていますが、当時は特に文系の大学院進学率は低く、関東の国立大学で教育学領域の博士課程まで設定されていたのは、東京大学と新設の筑波大学のみでした。しかも東大は教育史担当が空席であったために大学院生の受け入れは無いという状態でした。京都にでも行かない限りは、筑波しか選択肢はありませんでした。



青森調査旅行で、右から二人目（1976年）
大学院入学の年の夏の史料調査の際の写真です。

こうして1期生として大学院での研究生活に入りました。現在でもかなり不便ですが、当時の筑波は、上野駅から常磐線で仙台行きの普通

列車に乗り、さらに軍歌の響く土浦駅前からバスで小一時間を要する陸の孤島でした。まさに荒野で揉まれた時代でしたが、そうしたなかで、中世教育史研究への思いは一層強まりました。戦後の教育史研究の動向は、教職との関わりの強さから、近代学校教育史研究への偏重が問題とされてきました。これに加えて学校を対象としていけば教育史となるという課題設定の安直さという面もあって、どうしても平板な教育史像しか描けないという弱点がありました。こうした問題点を克服するために、時間軸を広げ、学校教育以外にも眼を向けるという視野の広さが必要だという意識のなかからの課題設定でした。

ただし古代から近世への移行過程ともいえる中世は、統一権力が存在しない複雑にして流動的な社会でしたので、その教育史像を捉えるために「遊歴」という視角からのアプローチを進めました。多様な遊歴者による教育活動の実相を積み重ねることにより、中世の教育の統一像を描こうとしたのです。その後、東京学芸大学に教員として採用され12年間を過ごし、さらに思いがけずに筑波大学に移りましたが、ほぼ40代までテーマを持続し、その成果を『日本中世教育史の研究-遊歴傾向の展開-』（梓出版社、1998年）として上梓しました。

ちょうどその頃、東西ドイツ統合直後でしたが、東部にあるフリードリッヒ・シラー大学（通称イエナ大学）に招聘され滞在する機会を得ました。明治期に近代教育学を導入する際に、多くの日本人が学んだ大学として知られていますが、そこでドイツの大学には中世大学以来の遊歴の伝統が生きていることを実感しました。ドイツの大学生は、一般に複数の大学で学ぶのですが、教員も昇任する際には他の大学に転出するという原則のあることを知りました。結果として、有能な教員は移動しますから、極めて流動性が高くなります。その影響というわけでは

ありませんが、その後15年目を区切りとして、筑波大から横浜国大に移りました。

3. 識字研究へ

当時は、区切りのついた研究テーマをどのように展開させるべきか模索していた時期でもありましたが、そこで卒業研究の成果をあらためて吟味し、「識字」の視点も盛り込んだ論文として投稿した「一向一揆を支えたもの-一向宗門徒の学習過程-」が、学会誌『日本教育史研究』第24号（2005年）に掲載されました。16世紀末期の奥深い越中国五箇山にて、門徒が『安心決定抄』という難解な和語聖教をテキストとして学んでいたという事実を明らかにした成果をいつか学会誌で評価していただこうと思いつけていたのですが、この時点で実現できました。



五箇山衆の連判状部分（1552年）
一向宗門徒の花押・略押、つまり識字力の証明。

それ以来、このテーマを継続しています。共同研究の第一次の成果としても『識字と学びの社会史-日本の諸相-』（思文閣出版、2014年）を上梓しましたが、これには欧米の出版社からのオファーがあり、現在海外の研究者によって翻訳作業が進められています。日本教育史の学術書としては初めてのことになります。これまでは、海外の研究成果を翻訳し学ぶという輸入偏重が続いてきましたが、私のようなドメスティックな研究成果が、海外へ紹介されるという新たな時代動向を感じています。恩師との出会いを運命の好意と受けとめつつ、今後も後続の成果を生み出していきたいと思っています。

【重要！】新型コロナウイルスの感染拡大に伴う対応について

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、政府が緊急事態宣言を行いました。放送大学神奈川学習センターでは感染拡大の予防のため、下記の通り対応いたします。

《神奈川学習センターの閉所について》

放送大学神奈川学習センターでは、施設内および来所中の感染のリスクを軽減するため、

4月8日から当面の間、閉所の対応をとっております。

窓口を含め、学習センター施設内に立ち入ることができませんのでご注意ください。再開の時期については、現時点では未定です。本措置に伴い、サークル・ゼミも当面の間、学習センターでの活動は中止しています。

学生の皆様にはご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解の程、お願い申し上げます。

《各種イベントの中止について》

上記の放送大学神奈川学習センター閉所措置に伴い、予定されていた下記のイベントはすべて中止となりました。大変申し訳ございませんが、感染拡大を防ぐための措置ですので、ご了承ください。

- ・2020年度第1学期入学者の集い
- ・卒業研究ガイダンス
- ・所長による勉強の仕方説明会
- ・パソコン初心者塾
- ・公開講演会

《電話受付時間の変更》

放送大学神奈川学習センターでは、緊急事態宣言に伴う業務の縮小により、電話受付時間が下記の通り変更となります。通常通りの電話受付時間に戻す時期は未定です。ご不便をおかけして大変申し訳ございません。

曜日 火曜日～土曜日

時間 11:00 ～ 14:00

今回の措置により、通常時の閉所日である月曜日・祝日、およびホームページに掲載している臨時閉所日に加えて、日曜日も電話を受付できません。

《学生証の交付・更新》

通常時は学習センター窓口で対応しておりました、学生証の交付については、

原則として緊急事態宣言による閉所期間中は受け付けておりません。

大変申し訳ございませんが、センター再開後に窓口にてお受け取りください。お受け取りには新入生の方は「入学許可証」、在学学生の方は「有効期限切れの学生証」が必要になります。

なお、学生証は基本的に、各学習センターの施設利用時や単位認定試験の本人確認のために使用するので、早急に入手する必要はありません。

《各種証明書の発行》

各種証明書の発行について、通常時は窓口、郵送の双方で受付しておりましたが、上記の通り窓口を含めて閉所の措置となりましたので、

郵送のみの受付となります。

閉所中に証明書の発行を希望される場合は、下記のことを揃えて、センターまで郵送してください。なお、「学力に関する証明書」につきましては、発行までに2週間ほどかかります。

＜郵送請求で同封するもの＞**■ 諸証明書交付願**

（「成績・単位修得証明書」等の通常の証明書は様式9（大学院は様式8）、「学力に関する証明書」は様式10（大学院は様式9）。「学生生活の葉」の巻末をコピーする他、放送大学ホームページでも様式をダウンロードすることができます。）

■ 発行手数料

（1通につき200円、基本的には郵便為替をご利用ください。郵便定額小為替証書の「受取人氏名欄」などには何も記入しないこと。現金で送付する場合は、必ず現金書留としてください。）

■ 返信用封筒（切手貼付、あて名明記）

郵送先： 〒232-8510

横浜市南区大岡 2-31-1 放送大学神奈川学習センター

《放送授業教材の利用》

現在神奈川学習センターが閉所しているため、視聴学習室や実習室で放送授業を視聴することはできません。ご自宅にてBSテレビ・ラジオ、またはシステム WAKABA におけるインターネット配信を利用して視聴してください。

ご自宅にBSテレビ・ラジオおよびインターネット環境の双方がなく、放送授業を視聴できない方は、「学生生活の葉」巻末様式19を使用し、郵送またはFAXにて放送大学本部（学習センターでは対応できません）まで申請することで、放送授業教材（CD、DVD）を取り寄せることができます。

申請方法等の詳細は「学生生活の葉」の33～35ページに記載がありますので、ご確認ください。

【重要！】2020年度第1学期面接授業について

新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、2020年度第1学期の面接授業は、

全て閉講となります。

日程変更(延期)もなく、面接授業空席発表及び追加登録の受け付けも中止します。

新学期が始まってからの面接授業を楽しみにしていた皆様には残念なお知らせですが、皆様の感染リスクを最小限に抑えるために、また、急激な感染の拡大を防止するために、ご理解ください。

代替措置については、現在大学本部にて WEB 活用授業等を検討しており、詳細については別途5月中旬頃にお知らせする予定です。

閉講により受講できなかった面接授業については、授業料が返金されます。返金の時期については、第1学期の面接授業が全て終了した後(10月～11月)が予定されています。

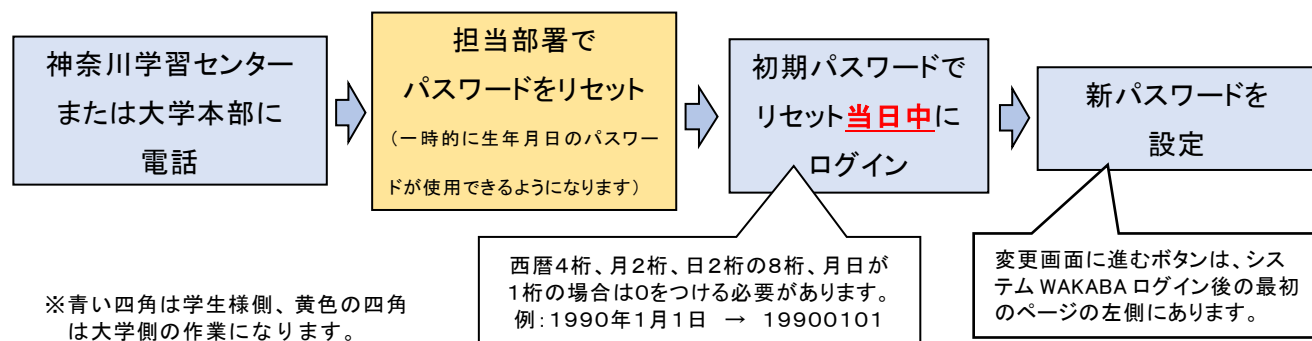
システム WAKABA のパスワード変更について

教務情報システム「システム WAKABA」にログインするために必要なパスワードについて、安全性の観点から、初期パスワードからの変更を推奨しております。在学生の方については、初期パスワード(生年月日)から変更されていなかった場合、3月上旬よりログインができなくなりました。

再度ログインするためには、大学本部の担当部署で一度リセットを行う必要がありますので、大学本部または神奈川学習センターまでお電話ください。

なお、新入生の方も、お早めに新しいパスワードを設定し、初期パスワードを使用し続けることがないようになしてください。

《パスワードリセット～再設定までの流れ》



【注意！】

パスワードをリセットすると一時的に生年月日のパスワードが使用できますが、翌日に再度ログインできなくなってしまう可能性があります。そのため、必ず電話した当日中にログインしてパスワードを変更してください。また、リセットに時間がかかることがありますので、電話から1時間経ってからログインしてください。

令和2年度 神奈川学習センター開講ゼミ・研究会一覧

●神奈川学習センター客員教授開講ゼミ

教員名	ゼミ名	活動内容	開催等	開催日	連絡先	備考
上川 孝夫	上川ゼミ	金融や国際金融を中心に、経済学を学ぶゼミです。一見難しそうな学問ですが、基礎を重視しながら、幅広いテーマを取り上げます。また、日本銀行や東京証券取引所の見学なども予定しています。	原則 第3土曜日	神奈川学習センターが通常の開所状態となるまでの間、ゼミは 一律中止 となります。 再開時期は未定です。	kamikawa@ynu.ac.jp	所外有
高橋 邦年	英語基礎ゼミナール	毎回3時間(休憩10分)の活動を行う。平易な英語教科書を選び、必要に応じて講師が内容について説明・解説をし、それを受けて学生が演習を行う。進度はあらかじめ定めず、無理なく進める。	基本的に毎月 第2土曜日 または 第3土曜日		takahak18@gmail.com	
白井 宏明	白井宏明ゼミ	今年度のテーマ:「SDGsをシミュレーションしよう」 国連で採択されたSDGs(Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標)について文献調査し、討議する。時には事例見学を行う。さらに、各自が関心のある項目を選び、EXCELなどのコンピュータツールを使用して、シミュレーションモデルを作成し、実験・分析する。	月1回		shirai@shirai.org	
茂木 一衛	茂木ゼミ	主にヨーロッパの芸術音楽について、歌唱、演奏、鑑賞の活動を通して学習・理解し親しみます。	原則月2回		kmoteki@nifty.com	

●元客員教授開講ゼミ

教員名	ゼミ名	活動内容	開催等	開催日	連絡先	備考
浅野 幸弘	浅野ゼミ	経済・金融・証券投資の本をテキストに、ゼミ生が順に内容を纏めて報告、その後全員でディスカッションする。2020年度前期はテキストとして「ダニ・ロドリック『貿易戦争の政治経済学』」を使用する。	原則 第2木曜日	神奈川学習センターが通常の開所状態となるまでの間、ゼミは 一律中止 となります。 再開時期は未定です。	asano-yukihiko-rc@ynu.ac.jp	
杉田 正樹	哲学カフェ	モンテニユ『エッセー』の輪読と哲学カフェ	原則 第3金曜日		msugita@kanto-gakuin.ac.jp	
角 洋一	角ゼミ	角ゼミでは、2016年度から明治・大正期を代表する物理学者・随筆家である寺田寅彦の随筆を中心に輪読を実施しているが、2020年度は、寅彦の随筆とともに夏目漱石の「三四郎」を読み、寅彦とその時代の理解を深める。	第2木曜日		sumi@ynu.ac.jp	所外有
種田 保穂	種田ゼミ	センターでの文献紹介、ズーラシア・新江ノ島水族館・科学博物館等見学、野鳥観察、磯の生物観察(真鶴)	月1回程度		taneda-yasuho-pj@ynu.ac.jp	所外有

Kーサポートからのお知らせ

K…神奈川学習センター(の学生)を、サポート…支援する学生・卒業生のボランティア活動です。昨年度を例に通常の活動を紹介します(**現在、学習センターでの活動は中止**)。

○ 学習相談チーム

学習相談会の開催…「入学式の集い」後、「勉強の仕方講演会」後、面接授業開講期間の土曜日の午後。2F談話室にて。学習の進め方、科目選択・単位の取り方など学習についての相談を受け付けています。

○ 機関紙編集チーム

この機関紙の、記事集め、編集、校正、カット絵写真およびアンケートなどで協力をしています。

○ 地域連携チーム

11月に、学内外の方が参加する「弘明寺」から「みなとみらい地区」までのウォーキングを開催。一年間かけてテーマ設定・コース決定・資料作成などを行い、当日はガイドとして参加者を案内しました。

○ バス研修チーム

センターの教職員と連携して、10月頃に開催されるバス研修旅行の企画運営のお手伝いをしています。昨年度の見学先のANA機体工場と江戸東京博物館は好評でした。

○ PCサポートチーム

パソコン経験がない、放送大学HPが利用できない方を実習室で個別支援。放送授業の視聴、通信指導の提出、科目登録の提出、過去試験問題の閲覧など1学期に6回程度。先着申込制。

□ Kーサポート事務局: ksupport@ouj.ac.jp

OUJ神奈川学習センターだより編集部

家田、伊藤、入江、遠田、笠井、吉川、木下、宮崎、三国
(50音順、以上、Kーサポート機関紙編集チーム)
垣谷(Kーサポート事務局)
早田(学習センター事務局)

学生サークルからのお知らせ

現在、学習センター閉所により、各サークルとも活動を一部中止しています。記載内容は、学習センターが平常に開所しているときのものです。現在の活動状況については、各サークルにご確認ください。

○神奈川放友会

豊かで実りある学生生活を共有することを目的に1985年神奈川学習センターの開設と同時に創立し、同年10月に公認サークルとして認可を受け、今日に至っており「学び」と「触れ合い」を柱とする幅広い活動を展開し現在約130余名の会員が所属する歴史と伝統があるサークルです。

活動は例会開催・一泊研修旅行・忘年会・パソコン勉強会・俳句の会・女性の会、音楽部等があります。

詳細は <http://kanagawa-hoyukai.jp/> を御覧ください
問合せ: 真野憲助 info@kanagawa-hoyukai.jp

○スペイン語研究会

★目的: 西語日常会話習得と西語圏歴史・文化を学ぶ。★活動: 月2回(第1・第3木曜日)。★会費: 月1,000円。★内容: 講師による日常会話習得、会員・ゲストスピーカーによる西語圏研究発表・講演。★その他: 親睦会等。★学習センター閉所中に、当会では、「メール授業」(西語童話の和訳、文法習得)、「Web会議」会員間情報交換、「電子メールニュースレター」発行等活動継続中。★連絡先: 会長・講師 肥後 照雄

電話: 080-2049-3523

メールアドレス: t_higo@cb3.so-net.ne.jp

○資格取得研究会

看護・福祉分野(心理や教育系も含む)のキャリアアップや進学・就職を目指す集まりです。目標の資格としては、正看護師、看護学士、認定心理士など。例会は、ひと月に1回、土曜または日曜に開催。情報交換が中心。★会費: ¥500(1年間)

★ホームページ… <http://shikaku.yumesora.net>

★お問い合わせ…080-5546-7913(はこぎき)

○人間学研究会

★「目的: 人間の本質的・実質的なあり方について、多面的視野から学習。会員の交流と親睦を図る」 会員 81名(男性47 女性34)

例会: 毎月、卒業研究・旅行経験等のテーマを発表

茶話会: 随時、会員をグループ分けし、自由討議を実施、美味しいお菓子が出ます。

★会誌「せせらぎ」30号を発行

★ウォーキング・植物園美術館巡り等。懇親会 会員募集中

お問い合わせ:

大和田克美 oowada-katsumi@u01.gate01.com

佐藤 義春 yoshi.l.chie@yd6.so-net.ne.jp

○うえるかむ Kanagawa

私達は英語を楽しみながら学んでいるサークルです。

☆例会は毎月第2、第4水曜日です。(試験月等は変更があります。)

*外国人講師の英会話レッスン 10:15~12:30

(3クラスに分かれ、各45分)

*English Songs 13:15~13:30

(みんなで一緒に楽しくうたう)

*Group Study 13:30~15:30

(4クラスに分かれ学生同士で学ぶ)

☆そのほか洋画鑑賞会、ゲスト講演会などを開催しています。

☆問い合わせ 片野真明(090-4714-8260)

○拡大かながわレク・サークル

★サークル活動: 放送大学生との「仲間作り」とウォーキング等の「健康づくり」

★例会: 2ヶ月に1回(含、映画鑑賞会)

★ウォーキング: 2ヶ月に1回、「日光街道」実施中。名所旧跡文化施設等も対象。

★その他観劇、観光、映画、美術鑑賞等。

上記の各種活動はいずれも自由参加。

—会員募集中(随時申込・受付)—

★問合せ: 島田 義治 Tel 090-3907-8384

E-mail simada.yosiharu@coral.plala.or.jp

○ダンスサークル(社交ダンス)

★場所:神奈川学習センター第 7 講義室 ★曜日:第2・第4火曜日 *第1・第3火曜日自主練習 ★時間:午後2時~4時 講師:菊島弘明・ユリ子 ★会費:1か月 1500 円 ★活動内容:社交ダンス(モダン、ラテン)の学習(ダンス パーティーで踊れるレベルに)

ダンスはスポーツです。健康増進(特に、姿勢が良くなる)、ストレス解消に、楽しく踊りませんか!! 人生がより明るくなります。不定期ですが、1泊での実習旅行も実施しています。初めての方も楽しく踊っています(初心者、歓迎!)。また、全科履修生の方は30時間のレッスンで、体育実技1単位を取得できます。

★連絡先: 中村 健 tarumakan0904n@gmail.com

○中国語学習会

新型コロナ禍の不安な日々ですが、今までの私たちはあまりにも無防備に生活していたように思います。今後は古代中国賢人の曰く『治にいて乱を忘れず』を肝に銘じましょう。

さて、こういう時こそ、中国の智慧に触れ、隣人と理解し合うために、中国語学習を始めませんか。

原則第1・第3日曜日の午前10時から〔自由会話と講読〕、午後1時からは〔発音の基礎とすぐに役立つ一言〕。どちらにも参加できます。

*問合わせ先 snuf.708w@ezweb.ne.jp:和田

または、elcondor@ra2.so-net.ne.jp:近藤

*詳しい日時・教室は1階の学生掲示板に掲載します。

○韓国語同好会

★月例会予定日 2回/月 第2、第4土曜日
(認定試験月は1回)

- ① 10:00~11:30 中級クラス
- ② 11:30~12:00 ミーティング(全員)
- ③ 12:00~13:30 初級クラス
- ④ 13:45~14:45 自主学习

短編小説 自由会話

★講師 李明淑(イ・ミョンスク)先生
★初級・中級両方への参加可能です。
★初めての方へのサポートもあります。
★入会随時、見学大歓迎です。

★会費 1ヶ月 2,000 円 3か月前納

★問合せ 神奈川サークル協議会ホームページ。

<http://kcc-ouj.net/dantai/hanguo/>
tsuyukimt@gmail.com (代表:露木)

○神奈川合唱団

★合唱を愛好する皆さんと一緒に学びつつ合唱で学生生活を楽しむサークルです。

現在 30有余名の会員がおります。

★学位記授与式(NHK ホール)では、全国の合唱を愛好する皆さんと「学歌」ベートーヴェンの「第九」第4楽章を歌い卒業生、修了生のお祝いをしました。

現在は、「学歌」「と・も・た・ち」などの合唱曲を練習しています。

★合唱指導は、オペラなどに出演しているバリトンの清水一成先生、新井ゆう子先生のピアノ伴奏で練習をしています。

☆場所:大岡地区センター 音楽室(2階)

☆日時:毎月第2・第4水曜日 18:10~20:30

☆連絡先、馬場信一 s-baba820@leaf.ocn.ne.jp

神奈川同窓会だより

神奈川同窓会は、放送大学に学んだ「誇り」を共有し「母校意識」をもって大学のために、活動しています。「卒業・修了祝賀茶話会」学園祭の「ホームカミングデー」、毎月行う「弘明寺サロン」等を開催しています。社会貢献として、「プラン・インターナショナル・ジャパン」や「あしなが育英会」を通して寄付金を贈る活動もしています。また、同窓会連合会として、大学と共催で学位記授与式(卒業式)謝恩会を行います。

現在、行事等の活動を中止しています。学習センターが開所されるようになりましたら、定時総会および30周年記念行事を開催する予定です。

最新情報は、インターネットでご覧いただけます。神奈川同窓会ホームページ「波濤ネット」

url は、<http://hatoh.net/>

「放送大学神奈川同窓会」で検索してください。

神奈川学習センターからのお知らせ

● 2020年度第1学期の面接授業は全科目閉講となります。

大変申し訳ございませんが、新型コロナウイルスの感染拡大により緊急事態宣言が発令されたことに伴い、2020年度第1学期の面接授業は、全国の学習センターで**全科目閉講**となります。

これに伴い、例年実施しておりました面接授業の追加登録についても第1学期は実施しないことになりました。詳細は本機関誌の**8ページ**をご確認ください。

● 2020年度 司書教諭に関する夏季集中科目の出願

《申請期間》 2020年5月1日(金) ～ 6月7日(日) 〈郵送のみ、私書箱必着〉

※ 詳細は放送大学ホームページをご確認ください。

なお、2019年度まで夏季集中科目として実施しておりました、「看護師資格取得に資する科目」につきましては、2020年度より学期型科目として通常学期に開設されます。

● 各種ガイダンスの中止について

新型コロナウイルス感染拡大により、下記のガイダンスを中止とします。

《卒業研究ガイダンス》

代替措置の詳細は別途5月中のお知らせを予定しています。

《2021年度大学院入学希望者ガイダンス》

代替措置として本学ウェブサイトの内容を掲載する方向で調整しております。

詳細については6月中のお知らせを予定しています。

● 2020年度第1学期単位認定試験について

2020年度第1学期単位認定試験は**自宅受験となります**。詳細については、本学ホームページ及び郵送にてお知らせしております。

実施にあたっては、以下のスケジュールを予定しております。

6月中旬～：解答用紙・返送用封筒・受験方法詳細の案内を大学から送付

(7/1(水)になっても未着の場合は大学本部へお問い合わせください。)

7月：単位認定試験実施期間(試験問題をWAKABAに掲載、答案を放送大学本部に提出)

8月下旬～：成績通知

● 第1学期通信指導の提出期間等 (学生生活の葉を熟読のこと)

《郵送提出》 2020年5月15日(金) ～ 5月29日(金) **放送大学本部必着**

《Web提出》 2020年5月 8日(金) **10:00** ～ 5月29日(金) **17:00まで**

〈添削結果返送時期〉 2020年6月末～7月上旬

以下の期限までに添削結果が届かない場合は、本部まで連絡してください。

①択一式科目・併用式科目の択一部分：2020年7月8日

②記述式科目・併用式科目の記述部分：2020年7月16日

※ 未提出及び期限外に到達した場合は単位認定試験を受験できません。